

備前市施策評価シート

【令和2年度作成】

| | | | |
|--------------|---------------|-----------------|----------------------------------|
| 施策名 (小項目) | 賑わいをもたらす観光の振興 | 決算書 P150-155 | (款)7 商工費 (項)1 商工費 (目)3 観光費 |
| コード | 05-07-28 | 作成者 | 産業観光課長 芳田 猛 (tel 64-1832) |

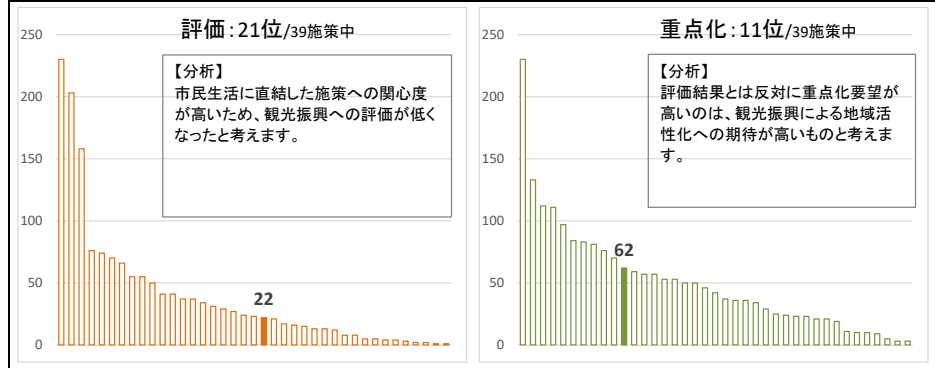
| | |
|-----------------------|---------------------|
| この施策の アピール ポイント | 豊富な観光資源により誘客を行っている。 |
|-----------------------|---------------------|

| | |
|--------------------------|---|
| この施策の 平成31年度の 施政方針 | 賑わいをもたらす観光の振興につきましては、2つの日本遺産の観光資源を最大限活用し、観光産業の活性化や販路拡大に努めてまいります。 官民包括連携協定に伴う株式会社ストライプインターナショナルによるストライプマルシェ、株式会社モンベルによるアウトドアイベントを検討・開催するなど、観光客の長期滞在型、宿泊型観光を推進してまいります。 また、関係団体と連携して、観光客が市内を周遊するために必要な周辺整備に取り組んでまいります。 観光客のおもてなしについては、市民自らが、ふるさとを自慢できる知識を身につけていただき、市民とともに備前市の魅力発信に努めてまいります。 |
|--------------------------|---|

<備前市総合計画の内容から記載する>

| | | |
|-----------------------------------|---|--------------------|
| ① 政策の体系 | 基本構想 (大項目) | 生活環境政策 (快適・活力) |
| | 基本計画 (中項目) | 地域の活力を生む産業を振興させるまち |
| ② 対象と目的 (誰のために、何のために) | 市民、観光事業者、観光関連団体、観光客等を対象に、観光振興による地域活性化を推進し、活力あるまちづくりを目的とする。 | |
| ③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出) | 日本遺産である「旧閑谷学校」と「備前焼」、また、ご当地グルメとして「カキオコ」などは、全国的にも知られているところですが、観光客の数は年々減少傾向にあります。本市の観光客の特徴として、観光バスやマイカーを利用した広範囲を移動する日帰り・通過型の観光が主流となっていることから、近隣市町と連携を図りながら周遊型や体験型・学習型観光への誘導を図ることが必要です。今後の本市の観光振興では、本市を訪れる観光客に、市民自らが、ふるさとを自慢できる知識を身につけることが重要です。 | |
| ④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出) | <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力を生かした長時間滞在型、宿泊型観光の推進 観光情報の発信 おもてなしの心による受け入れ態勢の充実 多様な観光ニーズへの対応 体験型修学旅行の誘致 | |

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



⑥ 施策成果指標 (基本目標・基本施策・施策意図から設定)

| 施策に対する成果指標名 | 単位 | 過年度実績 | | 評価年度 R1 | 成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明 | 目標値 | |
|------------------|--------|-------|--------|------------|--|-----|-------|
| | | H29 | H30 | | | R2 | R4 |
| 市内観光施設の入場者数 | 目標 | 千人 | 1,000 | 1,000 | 岡山県観光客動態調査報告値 (市内観光施設及び主要イベント集 客数) | R2 | 1,100 |
| | 実績 | 千人 | 778 | 850 | | R4 | 1,200 |
| | 達成率 | % | 77.8 | 85.0 | | | |
| | ベンチマーク | | - | - | | | |
| 観光ボランティアガイド登録者数 | 目標 | 人 | 50 | 50 | 観光ボランティアガイド登録者数 | R2 | 60 |
| | 実績 | 人 | 37 | 43 | | R4 | 70 |
| | 達成率 | % | 74.0 | 86.0 | | | |
| | ベンチマーク | | - | - | | | |
| 備前市観光フェイスブックの閲覧数 | 目標 | 数 | 34,000 | 37,000 | フェイスブック延べリーチ数 (平成28年リーチ数31,012を基準) | R2 | 25%増 |
| | 実績 | 数 | 56,309 | 76,144 | | R4 | 30%増 |
| | 達成率 | % | 1.7 | 2.1 | | | |
| | ベンチマーク | | - | - | | | |
| 観光ボランティアガイド利用者数 | 目標 | 人 | 10,100 | 11,800 | 観光ボランティアガイド利用者延人 (案内人数 H28 10,002人基準) | R2 | 20%増 |
| | 実績 | 人 | 10,584 | 8,353 | | R4 | 30%増 |
| | 達成率 | % | 1.0 | 0.7 | | | |
| | ベンチマーク | | - | - | | | |

⑦ 目標達成に必要な新規事業 (施策構成事務事業以外の事業) 及び連携させる他部署の事業

| 実施主体 | 新規に必要な事業・連携が必要な事業 | 説明・期待される効果 |
|-----------|-------------------|--|
| 文化振興課 | 歴史・文化施設等の整備 | 歴史文化基本構想に基づく歴史文化施設の整備等により誘客を図ることができる。 |
| 社会教育課 | 文化スポーツイベント | 広域的に実施する文化スポーツイベントと連携して実施することにより誘客を図ることができる。 |
| 日生・吉永総合支所 | 各観光施設の整備・維持管理 | 観光施設の適正な整備・維持管理を行うことで誘客を図ることができる。 |

⑧ 施策の評価

| 項目 | 評価 | 5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い | |
|-------------------------------------|------|--|-----------------------------|
| | | 判断理由 (なぜ、そのランクと評価したのか) | |
| 1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか? | 4 | 成果指標により観光施設の入場者数など観光客の状況把握・分析ができ、観光客誘客の施策展開に必要な指標であり、成果指標として妥当である。 | |
| 2 <事業構成の適当性> 手段は最適か? | 4 | 市内観光客の入場者数は増加傾向にあり、観光施設の維持管理、PR活動、関係団体への補助など、観光振興の各種事業の成果が表れている。 | |
| 3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは? | 3 | 日本人観光客の誘客だけでは、指標を達成することは困難であることから、インバウンド対策としての受入れ環境整備を実施することにより、外国人観光客の誘客を図ることと令和4年度の達成を目指します。 | |
| 進行年度(R2年度)の取組内容 (課題解決状況) | | インバウンド誘客を図るためトイレの洋式化や観光案内所、案内板の環境整備を実施します。しかしながら、新型コロナウイルス感染症により各種イベントが中止になるなど予定していた事業ができない状況です。今年度については、新型コロナウイルス対策を講じながら落ちこんでいる観光客の誘客を図るための新規事業に取り組みます。 | |
| 翌年度(R3年度)の取組目標 | | 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス対策を講じながら落ちこんでいる観光客の誘客を図るための新規事業に取り組みます。 | |
| 二次評価者コメント | | 本市は、元々優れた観光資源を多数有しており、インバウンドや「ハルカの陶」の映画化など、流行への対応やコンテンツの多様化にも努力していますが、新型コロナによって社会が一変しました。今後は、観光客を呼び戻すことになりませんが、ワーケーション、サテライト、ワーケーションなど新生活様式も含めて、ニューノーマル(新常态)を意識した新しい観光の在り方も問われることになっていくでしょう。観光協会等各団体との連携を強化し、社会動静にも注意しながらの対応をお願いします。 | 基本施策への 貢献度 4 やや高い |
| 役職 | 産業部長 | | |
| 氏名 | 岩崎和久 | | |